

藤枝活性化 学生が解決策



藤枝市を舞台に研究した地域課題解決策を発表する学生
＝同市内

空き家リノベ／歩行者天国で催し

研究成果市に提案

静岡理工科大

学校法人静岡理工科大は藤枝市と連携して22日、学生たちが同市を舞台に地域活性化策を考える「地域課題解決講座」のプラン発表会をB・I・V・I藤枝内にある同大藤枝イノベーション・コモンズで開いた。計4日間のグループワークやフィールドワークで検討した内容を披露した。

同法人が運営する県内の大学、専門学校、高校、中学校から計25人が参加。「歴史・文化・生活を見直し、未来へつなげるために」をテーマに、5グループに分かれて研究を進めた。蓮華寺池公園の郷土博物館や岡部宿大旅籠(はたご)柏屋、玉露の里といった観光施設も見学した。

多くのグループは若者世代の流出や、目立った集客施設がないことなどを地域の課題に挙げた。その上で、空き家のリノベーションで定住者を増やす▽大型商業施設の設置▽歩行者天国でのイベント開催―といった提案を行った。

発表会では市の担当者らによる審査も行った。最高賞の市長賞に選ばれたグループは後日、北村正平市長への報告を行う。(藤枝支局・岩下勝哉)